

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|--|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 48 | 利用者様それぞれ、身体面・精神面で出来ることが少なくなっているのが現状。 | 精神的に落ち込む利用者様もいる中で、なるべく、精神面・身体面の現状維持を図る。 | どうしたら、現状維持を図れるのか、グループホーム会議などで検討し、個別に生活の中でリハビリを行う。担当職員が個別援助を計画し、全職員が協力して行っていく。 | 12ヶ月 |
| 2 | 30 | 今までのかかりつけ医との関係が途切れないよう、ご家族に受診をお願いしているが、ご家族も高齢になり受診が大変になってきている。ご家族だと、普段の状態が伝えられないことがある。 | 利用者様が毎日を元気で過ごせるよう体調管理を行う。体調の変化になるべく早く気が付けるよう、日々の生活の中で観察を行う。 | ご家族・医師・職員が情報共有を密に行っていく。受診に関しては、職員が医師へ情報提供を行っていく。状態の変化があったらご家族にこまめに伝えていく。 | 12ヶ月 |
| 3 | 10 | 面会時やサービス担当者会議時などご家族に要望や意向をお聞きしても「特にない」と言われることが多い。 | ご家族と、より一層信頼関係を築けるように努めていく。ご家族の思いを十分引き出せるよう、働きかけを行っていく(情報の発信・収集)。 | 職員から月1回のお便りや、面会時などに普段の様子をお伝えしていく。ご家族にアンケートを実施、その内容を会議で職員全員が共有・検討し、サービスやケアに反映していく。 | 12ヶ月 |
| 4 | 11 | 普段から、職員同士で情報の共有は行っているが、職員個人が自分の思いや意見を十分、発言できているかは不明。 | すべての職員が自分の思いや意見を発言できる環境を作る。職員全員が責任を持ち、他職員任せにしない。 | 管理者・主任が定期的に面接を行い、個人の意見を聞き取る機会を設ける。会議でも、積極的に発言できるよう、常日頃から意識をしていく。 | 12ヶ月 |
| 5 | 13 | 外部研修などの機会が少なく、また、施設内研修も動画視聴になっている。 | 職員全員の意識とレベルを高め、ケアの質の向上を図る。 | グループホーム会議の中で、ミニ研修を開催し、感染・認知症・緊急時の対応など特に必要な内容を重点的に、普段、職員が疑問に思っていることを解消していく。 | 12ヶ月 |